

## 5 年齢別常用求人・求職・就職状況

常用（含パート）

28年2月

	新規求人数		月間有効求人数		新規求職 申込件数	月間有効 求職者数	就職件数	新規求人倍率		有効求人倍率	
	就職機会	求人数均等	就職機会	求人数均等				就職機会	求人数均等	就職機会	求人数均等
	積み上げ方式	配分方式	積み上げ方式	配分方式				積み上げ方式	配分方式	積み上げ方式	配分方式
年齢計	71,248	71,248	185,795	185,795	36,151	142,267	9,293	1.97	1.97	1.31	1.31
19歳以下	1,186	7,382	3,165	19,559	543	2,115	107	2.18	13.59	1.50	9.25
20～24歳	7,058	8,028	17,937	21,439	3,386	12,145	764	2.08	2.37	1.48	1.77
25～29歳	10,120	7,954	26,539	21,214	4,736	17,802	1,032	2.14	1.68	1.49	1.19
30～34歳	8,571	7,537	23,178	20,003	3,983	15,705	953	2.15	1.89	1.48	1.27
35～39歳	7,604	6,739	20,350	17,660	3,721	14,816	1,007	2.04	1.81	1.37	1.19
40～44歳	8,097	6,214	21,051	16,080	4,318	16,950	1,261	1.88	1.44	1.24	0.95
45～49歳	7,298	5,912	18,514	15,171	4,109	16,115	1,162	1.78	1.44	1.15	0.94
50～54歳	5,853	5,846	15,593	15,011	3,367	13,740	975	1.74	1.74	1.13	1.09
55～59歳	4,774	5,838	12,856	14,993	2,624	10,917	702	1.82	2.22	1.18	1.37
60～64歳	4,775	5,173	13,557	12,982	2,527	11,516	754	1.89	2.05	1.18	1.13
65歳以上	5,912	4,625	13,055	11,683	2,837	10,446	576	2.08	1.63	1.25	1.12

年齢計	71,248	71,248	185,795	185,795	36,151	142,267	9,293	1.97	1.97	1.31	1.31
24歳以下	8,244	15,410	21,102	40,998	3,929	14,260	871	2.10	3.92	1.48	2.88
25～34歳	18,691	15,491	49,717	41,217	8,719	33,507	1,985	2.14	1.78	1.48	1.23
35～44歳	15,701	12,953	41,401	33,740	8,039	31,766	2,268	1.95	1.61	1.30	1.06
45～54歳	13,151	11,758	34,107	30,182	7,476	29,855	2,137	1.76	1.57	1.14	1.01
55歳以上	15,461	15,636	39,468	39,658	7,988	32,879	2,032	1.94	1.96	1.20	1.21

年齢計	71,248	71,248	185,795	185,795	36,151	142,267	9,293	1.97	1.97	1.31	1.31
44歳以下	42,636	43,854	112,220	115,955	20,687	79,533	5,124	2.06	2.12	1.41	1.46
45歳以上	28,612	27,394	73,575	69,840	15,464	62,734	4,169	1.85	1.77	1.17	1.11

（注） 年齢別の求人倍率及び求人数は、次の2つの方法により集計を行っている。

「就職機会積み上げ方式」

個々の求人について、求人数を対象となる年齢階級〔5歳刻みの11階級〕の総月間有効求職者数で除して当該求人に係る求職者1人当たりの就職機会を算定し、全有効求人についてこの就職機会を足し上げることにより、年齢別有効求人倍率を算出する。年齢別月間有効求職者数は、年齢別有効求人倍率に年齢別月間有効求職者数を乗じて算出する。なお、新規求人倍率及び新規求人数も同様の方法により算出する。（この際、月間有効求職者数の代わりに、新規求職申込件数を用いる。）

平成18年7月分より公表。

「求人数均等配分方式」

求人の対象年齢の種類（対象年齢がどの年齢階級〔5歳刻みの11階級〕にまたがるかにより66通りに分類）ごとに、求人数を対象年齢に相当する各年齢階級に均等に配分して、年齢別の月間有効求職者数を算出し、これを年齢別の月間有効求職者数で除して、年齢別有効求人倍率を算出する。新規求人倍率及び新規求人数についても同様の方法により算出する。